

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	三和支所きめ細かな安心安全事業			510456	担当課	三和支所	
	開始年度	平成23(2011)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	水谷 由紀		
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)地域交流推進費	決算附属資料	92	頁	
	施策の大綱	土地利用および市街地・集落整備			関連計画等	-		
	施策名	集落環境を保全・整備する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	三和支所管内への迅速な地域の実情に合わせた対応をすることにより、住民満足度の向上を図ることを目的とする。						
	対象者	三和地域の市民	対象者数	3,460	一人当たりコスト	0.33		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>						
	事業概要	地域や住民生活の安心安全を確保するため、緊急かつ重要な小修繕を支所長裁量で対応する。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		アラタ1号線側溝修繕、市道辻中出線舗装修繕			280	
工事請負費		市道東田ノ谷線橋梁高欄修繕			216			
関連事業								
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		500	500	500		
		補正予算等・・・②		52	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		552	500	500		
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		0	0	0		
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.05/0	0.08/0	0.05/0	/	
概算人件費・・・④		400	640	400				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			952	1,140	900			
執行状況	執行額・・・⑥		552	496				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	99.2%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		実施事業費	千円	552/500	496/500	/500	500	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		道路修繕	回	3 / 4	3 / 4	/ 4	4	
		単位あたりコスト		184.0	165.3			
			/	/	/			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	地域住民の緊急を要する安全・安心を確保する事業で支所長裁量で執行できることは、即効性があり、市民のニーズが高い。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	支所長裁量によるため、迅速かつ、きめ細かな対応ができる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	地域の実情に合わせた対応ができることから有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	緊急を要する地域住民の安全・安心を確保するため、地域の実情に合わせて支所長裁量で執行できることは、即効性があり、きめ細かな対応ができており、市民満足度が高い。	
	今後の課題及び方向性	市民満足度が高いため、当面継続して実施する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の現状やニーズに応じ、予算増額の検討もあり。</li> <li>・公平性、緊急性など、他課と連携をとりながら選択されて実施されている事業であると感じました。</li> <li>・福知山市全体(道路河川課所管として)で優先順位をつけて対応していくことで不公平感はなくならないか。</li> <li>・京都府が実施している府民公募型整備事業のような形で実施できないかを含めて検討していただきたい。</li> <li>・成果実績を迅速に対応できる点や市民満足度が高い点等に設定すべき。</li> <li>・緊急性を求められているのなら、もう少し早く実施すべきでは。</li> <li>・極力、この事業でしか行えないことをした方がよい。(制度上、止むを得ないが道路・河川については担当課で対応するのが本来)</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	夜久野支所きめ細かな安心安全事業			510454	担当課	夜久野支所		
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	衣川 正彦			
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)地域交流推進費	決算附属資料	92	頁		
	施策の大綱	土地利用および市街地・集落整備			関連計画等	-			
	施策名	集落環境を保全・整備する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	地域の実情や緊急性を勘案したきめ細かで迅速な対応により、住民満足度の向上を図る。							
	対象者	夜久野地域住民	対象者数	3,635	一人当たりコスト	0.60			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 有限会社七彩プラスチック工業							
	事業概要	住民の安心安全を確保するため重要かつ緊急に対処しなければならないと支所長が判断した事業を実施する。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		需用費		市道向嶋縦道線水路防護フェンス修繕			146		
委託料		JR下夜久野駅横旧職員駐車場看板設置業務(看板製作分)			99				
工事請負費		JR下夜久野駅横旧職員駐車場看板設置業務(看板設置分)			49				
原材料費		防火水利落下防止安全ネット			11				
関連事業									
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		500	500	500			
		補正予算等・・・②		0	0	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		500	500	500			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	0	0			
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.14/0	0.21/0	0.21/0	/		
概算人件費・・・④		1,120	1,680	1,680					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			1,620	2,180	2,180				
執行状況	執行額・・・⑥		497	305					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		99.4%	61.0%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		実施件数	件	2 / 2	3 / 2	/ 2	2		
		単位あたりコスト		248.5	101.7				
				/	/	/			
	単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	夜久野地域における住民生活の安心・安全確保の点で事業は必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	緊急的な小規模事業を支所長判断により対応できる利点がある。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	成果の数値化が困難である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	他の部署で即時対応が困難であった案件等に対し、支所長裁量で迅速な対応ができ、住民生活の安心安全を確保することができた。 【定性的評価】	
	今後の課題及び方向性	住民生活の安心・安全確保のため、事業を継続する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・地元の現状やニーズに応じ、予算増額の検討もあり。 ・公平性、緊急性など、他課と連携をとりながら選択されて実施されている事業であると感じました。 ・福知山市全体(道路河川課所管として)で優先順位をつけて対応していくことで不公平感はなくなるのではないかと。 ・京都府が実施している府民公募型整備事業のような形で実施できないかを含めて検討していただきたい。 ・成果実績を迅速に対応できる点や市民満足度が高い点等に設定すべき。		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	大江支所きめ細かな安心安全事業			510455	担当課	大江支所		
	開始年度	平成23(2011)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	山中 忠雄			
	歳出費目	款)総務費	項)総務管理費	目)地域交流推進費	決算附属資料	92	頁		
	施策の大綱	土地利用および市街地・集落整備			関連計画等	-			
	施策名	集落環境を保全・整備する			根拠法令等				
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	大江地域への迅速できめ細かい対応による市民満足度の向上を図る。							
	対象者	大江地域の市民	対象者数	4,477	一人当たりコスト	0.61			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 福知山地方森林組合 町内建設業者							
	事業概要	住民の安心安全を確保するために、重要かつ緊急に対応しなければならないと支所長が判断する小規模修繕を行う。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		修繕料		道路修繕(2箇所)			335		
委託料		倒木撤去			99				
手数料		土砂撤去			50				
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		500	500	500			
		補正予算等・・・②		0	0	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		500	500	500			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	0	0			
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.12/0	0.28/0	0.28/0	/		
概算人件費・・・④		960	2,240	2,240					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			1,460	2,740	2,740				
執行状況	執行額・・・⑥		454	484					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		90.8%	96.8%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		※定性的評価		-	-	-			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		実施箇所		箇所	2/2	4/2	/2		
		単位あたりコスト			227.0	121.0			
							/		
単位あたりコスト									

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	自治会要望の小修繕に迅速な対応による市民満足度の向上を図るうえで必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	支所長の裁量によるため、迅速かつきめ細かな対応ができる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	小規模修繕であるため、各自治会からの要望対応ができ、住民生活の安心安全が図れる。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	現在の事業規模で継続的に実施。 定性的評価:住民の安心安全を確保するために、小修繕がすみやかに対応できた。	
	今後の課題及び方向性	小規模修繕であるため、複数の案件に対応ができることから継続的に取り組む。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・緊急的で担当課では対応できなかったり、担当課がないような箇所の修繕等の案件に対して柔軟に対応をしているのことで必要であると感じた。 ・予算額の増減や事業継続など地元からの要望と支所に対処できる事務量を考慮した検討は今後とも継続していただきたいと思えます ・見直し特になし。 ・公平性、緊急性など、他課と連携をとりながら選択されて実施されている事業であると感じました。 ・成果実績を迅速に対応できる点や市民満足度が高い点等に設定すべき。 ・指標のひとつとして、要望から完了までの機関(の長さ)を設定してはどうか？ ・事業の必要性は主張されるが、増額の意向はないとのこと。増額要望があつてしかるべきと考える。 ・事業概要など、もう少し詳しく内容を(要望対応や現場確認など)		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	農業振興地域整備促進事業			510105	担当課	農林業振興課		
	開始年度	昭和46(1971)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	荻野 幹雄			
	歳出費目	款) 農林業費	項) 農業費	目) 農業振興費	決算附属資料	174	頁		
	施策の大綱	土地利用および市街地・集落整備			関連計画等	-			
	施策名	集落環境を保全・整備する			根拠法令等	農業振興地域の整備に関する法律			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ( )							
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき、本市の農地利用の方向性等を示す「福知山市農業振興地域整備計画」を定め、優良な農地の確保・保全及び計画的な農地利用及び農業施策の実施を目指す。							
	対象者	農業人口	対象者数	35,980	一人当たりコスト	0.09			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>							
	事業概要	・5年ごとに基礎調査に基づき、地元農区や関係機関と調整して「福知山市農業振興地域整備計画」の変更を行なう(特別管理)。その他必要に応じて、年一回計画変更を行なう(一般管理)。 ・「福知山市農業振興地域整備計画」において、今後農業の振興を図る地域(農振農用地)を指定し、土地利用計画を作成する。							
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費		
		需用費		消耗品費(用紙)			24		
役務費		農区長への資料郵送料			18				
使用料及び賃借料		複写機使用料(資料印刷)			30				
関連事業	中山間地域等直接支払交付金事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		425	295	411			
		補正予算等・・・②		△ 34	△ 100	0			
		繰越し等・・・③		0	0	0			
	財源内訳	一般財源		391	195	411			
		国支出金		0	0	0			
		府支出金		0	0	0			
		地方債		0	0	0			
		その他特財		0	0	0			
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.4/0	0.4/0	0.4/0	/		
概算人件費・・・④		3,200	3,200	3,200					
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			3,591	3,395	3,611				
執行状況	執行額・・・⑥		238	72					
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		60.9%	36.9%					
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		農用地内の遊休農地割合	%	0.86/0	0.99/0	/0	0		
				/	/	/			
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		計画変更(一般管理)	件	3/3	0/3	/3	3		
		単位あたりコスト		79.3	-				
			/	/	/				
	単位あたりコスト		0.0	0.0					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	農業振興地域の整備に関する法律に基づく業務として行政がやらなければならない事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	*図面はH24年度よりデジタル化しており、維持管理経費は以前より削減されている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	*各種農業振興事業の基本指針となる計画であり、有効性は高い。 *全ての農地の振興を図ることは困難であるため、振興を図るべき農地を線引きすることは有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	本計画の基本指針に基づき、農地保全事業、基盤整備事業等が適切に実施されていると考えているが、農業の振興を図るべき地域である農振農用地においても、高齢化や後継者不足により遊休農地が発生している。	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助整備等公的資源が投入されている農業の振興を図るべき農振農用地であっても、山間部においては農地の保全、有効利用が難しくなっている。今後は社会情勢の変化等も鑑み、活用を推進すべき農用地と維持すべき農用地を区分していく必要がある。</li> <li>計画の見直しに向けた事務手続きが煩雑であり、職員の負担が大きい。</li> </ul>		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>農業振興地域の整備に関する計画の策定により、効率的な農業振興が図られている。</li> <li>計画的な農業振興を図るとともに、農業振興の根本的な課題である高齢化や後継者不足等の対策も進めていただきたい。</li> <li>本事業で行っている「福知山市農業振興地域整備計画」の策定や変更は、法律に基づくものであり、市として行う必要性は高い。</li> <li>市としてやるべきことを毎年度計画的に進められていることは担当課の話を聞いて分かったので、制度が複雑であることから、市民へのシートの見せ方を工夫していただきたい。</li> <li>また、事業としても事務が煩雑であり職員の負担が大きいとのことなので、できるだけ負担が減るよう工夫しながら事業を進めていただきたい。</li> <li>成果実績については、この事業の結果が良いのか悪いのかを分かりやすく表現できるような指標を記載できるよう検討をお願いします。</li> </ul>		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし		
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		